

平成 29 年度(2017 年度)  
年 次 報 告 書

一般社団法人日本臨床心理士会

東京都文京区本郷二丁目 27 番 8 号

# 目 次

## I. 平成 29 年度 事業報告書

はじめに .....	1
1. 委員会活動報告.....	2
(1) 編集委員会.....	2
(2) 倫理委員会.....	2
(3) 医療保健領域委員会.....	3
(4) 産業・組織領域委員会.....	3
(5) 被害者支援委員会.....	4
(6) 教育領域委員会.....	4
(7) 私設心理相談領域委員会.....	5
(8) 児童福祉委員会.....	5
(9) 障害者福祉委員会.....	6
(10) 高齢者福祉委員会.....	6
(11) 司法矯正領域委員会.....	7
(12) 支援事業委員会.....	7
(13) 自死予防専門委員会.....	8
(14) アディクション対策専門委員会.....	8
(15) ひきこもり対策専門委員会.....	9
2. プロジェクトチーム活動報告.....	9
(1) 災害支援プロジェクトチーム.....	9
(2) 研修企画検討プロジェクトチーム.....	10
(3) 公認心理師制度対応プロジェクトチーム.....	10
3. 臨床心理講座・研修会開催状況.....	11
4. 電話相談事業.....	13
5. ひきこもりの家族支援事業.....	13
6. 雑誌、ニュースレター、資格問題の諸情報・電子版速報の発行.....	14
7. ホームページの利用状況.....	18
8. 行政機関、他機関・団体への委員・役員等の選出状況.....	20
9. 後援名義使用承認一覧表.....	21
10. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項.....	22
(1) 代議員会開催状況.....	22
(2) 理事会開催状況.....	22
(3) 常任理事会開催状況.....	23

## II. 平成 29 年度決算報告書

貸借対照表等決算書類.....	27
役員名簿.....	36
代議員名簿.....	37

# 平成 29 年度事業報告

## はじめに

平成 29 年度もそれまでの事業を概ね踏襲し、会員への情報提供、研修事業等に努力した。なお、平成 29 年 9 月 15 日に公認心理師法が施行されたことへの対応として、公認心理師法施行規則（案）等、4 本のパブリックコメントを理事会検討のうえ提出した。

第 3 期後期 1 年目の平成 29 年度における当会事業は以下のように執り行われたことを報告する。

## ○公認心理師法の施行を受けて

- ①4 本のパブリックコメントを提出し、ホームページで広報した。
- ②会員への諸情報の提供を継続した。
- ③経過措置による受験をする会員のために、現任者講習会の地方開催を計画し、準備した。
- ④公認心理師を取得する会員が輩出する平成 30 年度に向けて、理事会決議にそった会の組織体制について協議した。

## ○平成 29 年度も、社会の要請への対応

- ①チーム学校の考え方に基づくスクールカウンセラーのあり方等に関する研修や諸会議に参画。
- ②学校での事件、事故への第三者委員会委員推薦について協力。
- ③チーム医療関連団体、福祉関連団体、経済産業関連団体等との連携・協力に取り組んだ。
- ④自殺対策、ひきこもり対策、障害者福祉等さまざまな当事者団体との連携・協力を、委員会活動も含めて行った。
- ⑤海外への緊急スクールカウンセラー派遣、被災地域自治体へのスクールカウンセラー派遣の要請に対応した。
- ⑥障害ある人への合理的配慮に関して研修し、配慮の実現に努めた。

## ○災害への備え

平成 29 年度には災害支援ブロック活動の推進に努めた。災害支援のための特別会計に、一定額を可能な範囲で積み立てることとした。災害時に活動する会員への研修参加を補助し、活動グループの形成を進めている。また活動にあたっての災害支援ガイドラインを準備中である。

## ○委員会等組織体制の整備

平成 29 年度は各委員会等の組織を再編し、横断的課題検討プロジェクトチームの各班を委員会とし、またプロジェクトチームとして公認心理師制度対応、研修企画検討、災害支援の各プロジェクトチームを編成した。なお、各委員会及びプロジェクトチームよりの報告は 3 ページ以降のとおりである。

## ○事務局について

- ①理事会決定に基づき、事務局規程、就業規則等を制定した。
- ②会員への広報を合理化するため、メールマガジンの発信を開始し、合計 9 回の発信を行った。
- ③臨床心理講座についてはウェブ管理をすることとし、順調に運用した。
- ④支援事業委員会の検討に基づき電話相談事業及びひきこもり支援事業を継続した。特にひきこもり関連では高年齢者の家族支援セミナーを追加実施した。
- ⑤行政、自治体等からの諸要請に対し、各委員会等との連携のもとに適宜対応した。
- ⑥東日本大震災関連で自治体からの要請に応じて事務を継続した。
- ⑦想定される災害における取り組みに向けて、災害支援本部事業を担当した。
- ⑧委員会・プロジェクトチームの活動に関する事務局協力体制を強化し、多くの会議に事務局員が参加した。また会議開催においては一部スカイプ利用を進めた。

## 【平成 29 年度 会員の動向】

平成 28 年度末会員数 20,226 名

平成 29 年度末会員数 20,708 名 < 平成 29 年度入会者 796 名、退会者 314 名 >

## 1. 委員会活動報告

### (1) 編集委員会

メンバー	氏名	平成29年度事業報告
委員長	徳丸 享	1. 委員会を6回開催した。(5月14日、7月16日、10月1日、11月26日、1月21日、3月21日) 2. 83号を平成29年年7月31日に刊行し、8月初旬に会員等に発送した。 3. 84号を平成30年1月31日に刊行し、2月初旬に会員等に発送した。 4. 関係者・関係機関、諸団体等に送付継続の意向を確認した上で、672か所を162か所に整理し、制作費、発送費を削減した。 5. 読者アンケートの結果を踏まえて、読みやすいレイアウト、適切な総ページ数に近づくよう編集するとともに、これについて執筆者の理解を得られるよう執筆ガイドの更新を行った。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	松浦 慶子	
委員	厚坊 浩史	
委員	坂本 憲治	
協力委員	竹林 一恵	
事務局	角 充宏	

### (2) 倫理委員会

メンバー	氏名	平成29年度事業報告
委員長	江口 昌克	1. 会員の倫理意識の向上のための啓発活動を行った。 (1) 研修講師の派遣は行われなかった。 (2) 平成29年10月14日(土)、定例研修会(東京)において第8回倫理ワークショップを開催した。 (3) 臨床心理講座を8月5日(土)、9月9日(土)、12月23日(土)に開催した。 2. 委員会を5月13日(土)、7月30日(日)、9月17日(日)、10月14日(土)、11月5日(日)、1月7日(日)、3月18日(日)に開催し、倫理問題への対応等を行った。 3. 内外組織との連携。 (1) ロールチャット・テスト図版使用についての意見書を日本ロールチャット学会、包括システムによる日本ロールチャット学会、日本心理臨床学会との連名で対象企業に送付した。事務局の初期対応における他団体との適切な連携がなされた。 4. 「倫理規定」、「倫理ガイドライン」、および「倫理問題に関する審議・調査・答申に関する運用内規」(旧対応指針)の改訂を行った。併せて、「調査の録音についての同意書」の様式を新たに制定した。
担当役員	奥村 茉莉子	
副委員長	伊藤 直文	
委員	池山 稔美	
委員	杉原 保史	
委員	長嶋 あけみ	
委員	山賀 道子	
委員	良原 恵子	
事務局	水谷 孝之	
事務局	法眼 裕子	

\*委員名：外部非公表につき取扱い注意

### (3) 医療保健領域委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	花村 温子	1. 委員会は、第 1 回を平成 29 年 9 月 17 日(日)、第 2 回を 10 月 14 日(土)、第 3 回を 11 月 25 日(土)、第 4 回委員会を 2 月 17 日(土)に開催した。 2. 前期からの活動(チーム医療関連、自殺対策、国家資格関連、診療報酬改定)は継続して行っている。診療報酬改定については、当会からの要望案はチーム医療推進協議会を通して提出し、また当会としても 9 月 8 日に独自に厚生労働省医療課に提出した。 3. 平成 29 年 10 月 15 日(日)に東京にて全国研修会を開催した。 4. 平成 29 年 11 月 26 日(日)、担当者研修会を東京地区で開催した。 5. 会員に向け、有益と思われる医療保健領域の情報を当会雑誌やホームページ上で発信した。ホームページには、会員ページの欄に各種調査の報告を掲載した。 6. 「公認心理師法」施行に向けて、資格法制化 PT 等と協働し、情報共有を行ってきた、施行後も、その姿勢を堅持し引き続き情報共有を行った。 7. チーム医療関連で、他医療関連団体との有益な連携、協力体制を取った。 8. 研修企画検討 T と協働し、研修計画を行った。 9. 臨床心理講座の企画を計画中で、平成 30 年の春から夏にかけて実施する予定である。 10. その他、必要と考えられる活動を行った。
担当役員	津川 律子	
副委員長	福田 由利	
副委員長	藤城 有美子	
委員	河西 有奈	
委員	小林 清香	
委員	梨谷 竜也	
委員	野村 れいか	
協力委員	江口 昌克	
事務局	水谷 孝之	

### (4) 産業・組織領域委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	奥村 茉莉子	1. 委員会を 3 回開催した。 2. 第 14 回定例研修会に企画を実施した。 3. 講師派遣を 9 回実施した。(山形、山梨、福井、愛媛、島根、大分、熊本、茨城、鹿児島)。参加者は合計 349 名であった。 4. 雑誌などへの情報提供を行った。 5. 東京経営者協会の相談事業等に協力した。
担当役員	江口 昌克	
副委員長	種市 康太郎	
委員	坂井 一史	
委員	島津 明人	
委員	坊 隆史	
委員	三宅 美樹	
協力委員	足立 智昭	
事務局	水谷 孝之	

### (5) 被害者支援委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	川畑 直人	1. 委員会を年 4 回（8 月 26 日、10 月 14 日、11 月 19 日、1 月 20 日）を開催した。 2. 被害者支援研修会を定例研修会の中で開催した。（平成 29 年 10 月 15 日） 3. 都道府県臨床心理士会被害者支援担当者研修会を開催した。（平成 30 年 1 月 20 日）
担当役員	花村 温子	
副委員長	中垣 真通	
委員	稲本 絵里	
委員	上田 鼓	
委員	窪田 由紀	
協力委員	西脇 喜恵子	
事務局	水谷 孝之	

### (6) 教育領域委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	高田 晃	1. 学校臨床心理士ワーキンググループ活動に協力した。 第 22 回学校臨床心理士全国研修会の開催 平成 29 年 8 月 20 日 於：東京都 第 36 回日本心理臨床学会委員会企画シンポジウムを開催（企画 村山正治） 2. 委員会を 3 回開催した。 第 1 回（8 月 20 日） 第 2 回（10 月 15 日） 第 3 回（12 月 1 日） 3. 定例研修会 I（10 月 15 日、東京）において第 3 回教育領域研修会を開催した。「不登校児童生徒への支援をめぐって」 4. 関係機関に対し教育領域関連活動で支援協力した。 ・SC 常勤化問題に関する意見書の作成 ・海外緊急支援に関する派遣者の選考 ・いじめ第 3 者委員会推薦委員の選考 ・文部科学省関連の委員会への出席 「いじめ対策協議会」、「SNS を活用したいじめ等に関する相談体制の構築に係るワーキンググループ」、「不登校に関する調査研究協力者会議」、「児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議」
担当役員	徳丸 享	
副委員長	石川 悦子	
委員	窪田 由紀	
委員	高野 久美子	
委員	中谷 敬明	
協力委員	元永 拓郎	
事務局	水谷 孝之	

## (7) 私設心理相談領域委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	今井 たよか	1. 委員会を 3 回開催した。 2. 第 3 期後期の活動目標として以下の 3 点について検討した。 (1) 私設心理相談領域の役割と責任の明確化。 (2) 私設心理相談機関相互の情報交換と相互交流の拡充。 (3) 公認心理師への対応の検討。 3. 活動目標に従って第 3 期後期を通した事業計画を以下の通り作成した。 (1) 情報発信（日本臨床心理士会雑誌への寄稿等） (2) 研修会の開催 (3) ガイドラインの検討 (4) 臨床心理士が働く私設心理相談機関のリスト作成に着手 4. 事業計画に従って以下を行った。 (1) 当会雑誌 84 号に「私設心理相談領域の役割と課題」を掲載した。 (2) 研修会の計画に着手した。 (3) ガイドラインについて整理と検討を行った。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	岩倉 拓	
委員	田中 究	
委員	人見 健太郎	
委員	松本 拓真	
委員	村上 雅彦	
協力委員	小林 菜穂美	
協力委員	松井 浩子	
事務局	水谷 孝之	

## (8) 児童福祉委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	高橋 幸市	1. 定例研修会 I（東京）において、第 16 回子ども家庭支援専門研修会を開催した。 日時：平成 29 年 10 月 14 日（土） テーマ：「周産期から乳児期の母子を支援する」 参加者数：216 名 2. 全国都道府県臨床心理士会児童福祉担当者研修会を開催した。 日時：平成 29 年 12 月 17 日（日） 内容：シンポジウム、実践報告、グループワーク 3. 臨床心理士子育て支援合同委員会に協力した。 (1) 第 13 回子育て支援講座を 8/27（日）京都国際会館で開催 (2) 「子育て支援と心理臨床」第 14 号を発行 (3) 日本心理臨床学会第 36 回大会で、平 29 年 11 月 19 日（日）にシンポジウム「発達障がいの子どものプレセプターと子育て支援」を開催 4. 「健やか親子 21」に協力した。 協力連携の一環として、上記定例研修会の企画に日本助産師会に講師の派遣を依頼した。
担当役員	高田 晃	
副委員長	増沢 高	
委員	内海 新祐	
委員	坂入 健二	
委員	武田 由	
委員	八木 安理子	
協力委員	南山 今日子	
事務局	水谷 孝之	

### (9) 障害者福祉委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	奥村 茉莉子	1. 委員会を 2 回開催した。 2. 定例研修会に参画した。 3. 日本発達障害ネットワーク(JDD net)の活動に協力した。 理事、代議員を派遣。 4. 日本障害者協議会 (JD) 政策委員会に出席した。 政策委員会に参加。全体会議に参加。 5. 文部科学省：第 14 回特別支援教育ネットワーク推進委員会に参加した。 6. 全国社会福祉協議会セミナーに出席した。 7. 臨床心理講座の連続研修会を実施した。 8. 障害領域の研修の方向を検討し、会の研修企画に協力した。 9. 障害者基本計画 (第 4 次) 案に関するパブリックコメントを検討した。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	四ノ宮 美恵子	
委員	伊庭 千恵	
委員	武部 正明	
委員	中津 大介	
委員	日戸 由刈	
事務局	水谷 孝之	

### (10) 高齢者福祉委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	香川 克	1. 10 月の定例研修会については、委員の日程が合わず、また、2 月の定例研修は開催されなかったため、本年度は研修会の開催を見送った。 2. 平成 30 年度に、臨床心理士の高齢者支援領域での活動について実態把握をするための Web アンケートを実施することとし、その計画を検討した。 3. 平成 30 年度の定例研修について、計画を検討した。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	松田 修	
委員	小野寺 敦志	
委員	桑田 直弥	
委員	藤田 雄	
委員	山中 克夫	
委員	若松 直樹	
協力委員	沼田 悠梨子	
事務局	水谷 孝之	



### (11) 司法矯正領域委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	片岡 玲子	1. 委員会を 5 回開催した（定例研修会及び定例研修会に係る事前学習会の際の委員会も含む）。 2. 講師派遣や定例研修会の実施結果を『雑誌』第 83 号・第 84 号に投稿し、委員会活動の広報に努めた。 3. 刑事施設の処遇カウンセラー等司法矯正領域における心理専門職の採用情報の広報に協力した。 4. 平成 29 年 5 月 21 日に定例研修会に係る事前学習会及び委員会を開催した。 5. 平成 29 年 10 月 14 日の定例研修会において、第 8 回司法矯正領域研修会及び委員会を開催した。 6. 講師派遣は、3 件（広島、栃木、長崎）実施した。 7. 広報活動の一環として、日本臨床心理士会のホームページの活用を検討したものの、具体策を得ることはできなかった。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	渡邊 悟	
委員	今村 洋子	
委員	押切 久遠	
委員	町田 隆司	
委員	山本 哲裕	
委員	遊間 千秋	
協力委員	吉村 雅世	
事務局	水谷 孝之	

### (12) 支援事業委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	鶴 光代	1. 委員会を年 4 回開催した。 2. 「ひきこもり家族支援セミナー・相談会」を年 2 回（4 月・11 月）開催した。 3. 30 代後半以降のひきこもり者を主たる対象とした「ひきこもり家族グループセミナー」を年 5 回（概ね隔月）開催した。 4. 首都圏中心ではあるが「ひきこもり支援臨床心理士の集い」を年 4 回開催した。 5. 定例研修会 I（東京）において「ひきこもり対策専門研修会」を開催し、ネットワークづくりのため、ひきこもり支援に関わる参加者のメールアドレスを作成した。 6. 定例電話相談事業ならびに前期の自死予防専門班との協働により、臨床心理講座「自殺リスクのアセスメントと基本的対応」を開講した。 7. 定例電話相談事業の一環として、電話相談員研修会を年 2 回実施した。
担当役員	奥村 茉莉子	
副委員長	水谷 孝之	
委員	齋藤 ユリ	
協力委員	井利 由利	
事務局	法眼 裕子	

(13) 自死予防専門委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	倉光 修	1. 委員会を年 3 回行った。 2. 自殺予防週間・自殺対策強化月間における当会の活動に関して検討し、実施した。 3. 関係官庁や団体などの関係会議に出席し、自死に関する内外の動向を把握し、会員へ情報提供した。 4. 自死予防専門研修会及び自死予防専門講座の開催について検討した。 5. 当会雑誌等を通じて、自死予防における臨床心理士の役割について内外に啓発活動を行った。 6. その他、自死予防に関して必要な諸活動を行った。
担当役員	高田 晃	
副委員長	足利 学	
副委員長	勝又 陽太郎	
委員	大塚 尚	
委員	菊池 義人	
委員	梨谷 竜也	
委員	三宅 美樹	
協力委員	窪田 由紀	
事務局	水谷 孝之	

(14) アディクション対策専門委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	信田 さよ子	1. 委員会を全 4 回開催した。 2. 平成 29 年 10 月 15 日（日）の定例研修会において第 5 回研修会を開催した。 3. 日本臨床心理士会雑誌に寄稿し、当会活動や関連諸学会情報を記載することで会員への周知を心掛けた。 4. 日本アルコール関連問題学会や新たに設立された関東アルコール関連問題学会等との交流や協力を深めた。 5. 薬物依存やギャンブル依存をめぐる国の政策の動向を把握し情報収集に努めた。
担当役員	花村 温子	
副委員長	三原 聡子	
委員	奥田 由子	
委員	河西 有奈	
委員	小西 友	
委員	高橋 郁絵	
協力委員	石川 雅子	
協力委員	平野 学	
事務局	水谷 孝之	

(15) ひきこもり対策専門委員会

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
委員長	平野 学	1. 発足が遅れたこと等もあり、会議は 2 回（11/4、1/28）の開催にとどまった。 2. 支援事業委員会による定例研修会に参加協力した。 3. 臨床心理講座を 1 回（11 月 5 日）開催した。 4. ガイドラインとなる書籍について、執筆・編集協力等行ない、当会監修として出版した。 5. 支援事業委員会に協力する形で、家族支援セミナーや相談会に参加した。
担当役員	江口 昌克	
副委員長	境 泉洋	
委員	齋藤 暢一朗	
委員	高塚 雄介	
委員	邑口 紀子	
委員	屋代 久美	
事務局	水谷 孝之	

2. プロジェクトチーム活動報告

(1) 災害支援プロジェクトチーム

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
代表	川畑 直人	1. PT 会議を 3 回開催した。スライド会議が実現した。 2. 全国各ブロックの活動について情報交換し、支援を検討した。 3. 国際医療技術財団の研修会に参加者を募集し、ファシリテーターを派遣し、情報を集約した。 4. 保健医療、教育領域委員会及び福祉、高齢者関連委員会に連携協力を依頼した。 5. 心理職の災害支援ガイドラインの作成を進め、アウトラインを作成した。 6. コアチーム、CPAT の役割などについて協議した。
担当役員	奥村 茉莉子	
委員	池 雅之	
委員	池田 美樹	
委員	今村 友木子	
委員	中津 大介	
委員	西田 泰子	
協力委員	小俣 和義	
協力委員	宮崎 圭子	
事務局	水谷 孝之	

## (2) 研修企画検討プロジェクトチーム

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
代表	宇田川 一夫	1. 第 3 期後期研修企画 PT と名称と委員を変更し、2 回の会議を開催した。 2. 平成 29 年度の定例研修会の研修名称・内容等に重複がないかを検討した。臨床心理講座の講座内容を検討した。今後社会的要請に対応した講座を県士会等の協力を仰ぎ開催する方向を確認した。 3. DVD やインターネットによる研修会の動画配信企画は制作費や著作権等の問題を解決する必要がある、今後の検討課題とする。 4. スパースビジョン仲介件数は、予想したより少ない結果となっている。 5. 社会的要請に敏感に対応した研修システムの構築の必要性を確認した。
担当役員	奥村 茉莉子	
委員	乾 吉佑	
委員	津川 律子	
委員	花村 温子	
委員	萩谷 克子	
委員	藤澤 美穂	
委員	藤原 俊通	
事務局	坪井 后代	
事務局	水谷 孝之	

## (3) 公認心理師制度対応プロジェクトチーム

メンバー	氏名	平成 29 年度事業報告
代表	野島 一彦	1. 会議を 5 回開催した (1)9 月 18 日、(2)11 月 11 日、(3)12 月 24 日、(4)2 月 3 日、(5)3 月 31 日 2. 心理職が大同団結できるような職能集団を作る事に向けて検討を重ねた。 3. 経過措置で公認心理師試験を受ける会員のための現任者講習会を、当会が各都道府県臨床心理士会の協力を得て実施することをサポートした。 4. 臨床心理士及び公認心理師の質の向上のための生涯研修システムの構築について検討した。 5. 臨床心理士及び公認心理師の雇用を増やすような職域拡大について検討した。 6. 公認心理師の上位資格について検討した。 7. 政治連盟について検討した。
担当役員	奥村 茉莉子	
副代表	平野 学	
委員	大御 均	
委員	元永 拓郎	
委員	矢島 潤平	
委員	渡邊 直	
事務局	水谷 孝之	

### 3. 臨床心理講座・研修会開催状況

#### (1) 臨床心理講座開催状況

日	時	企画名	講師	参加者
4月9日	(日) 10:30~16:30	子どもの認知行動療法(基礎)	松丸 未来	43
4月22日	(土) 10:30~17:30	心理療法統合の実際	岩壁 茂	36
4月23日	(日) 10:30~16:30	認知行動療法入門	中野 敬子	44
4月30日	(日) 10:30~16:30	ストレスマネジメント入門	坂上 頼子	47
5月7日	(日) 10:30~16:30	産業心理臨床の実践	瀬戸山 聡子	44
5月13日	(土) 10:30~16:30	クライアントの個性と葛藤に応じる認知行動療法	杉山 崇	34
5月14日	(日) 10:30~16:30	医療で働く際の基本姿勢・倫理・関連法規	花村 温子	22
6月4日	(日) 10:30~16:30	フォーカシングを体験的に学ぶ	日笠 摩子	43
6月10日	(土) 10:30~16:30	医療領域における心理臨床-事例を通して学ぶ-	医療保健領域委員	24
6月11日	(日) 10:30~16:30	幼稚園・保育園における特別支援ワークショップ	松村 裕美	45
7月2日	(日) 10:30~16:30	いじめ・ハラスメントの心理臨床と法	佐藤・柴田・長嶋・奥村	44
7月9日	(日) 10:30~17:30	自律訓練法	笠井 仁	30
7月22日	(土) 10:30~16:30	学童期の発達障害への理解と具体的な支援	黒澤 礼子	49
7月23日	(日) 10:30~16:30	医療機関における心理検査の実践的活用	福田+花村	44
8月5日	(土) 10:30~16:30	心理臨床における職業倫理を学ぶ~教育領域での関わりを中心に~	佐竹 由利子	28
8月26日	(土) 10:30~16:30	さまざまな素材による表現療法	齋藤 ユリ	25
9月2日	(土) 10:30~16:30	リワーク・プログラムを中心に復職支援を考える	新田 泰生	50
9月9日	(土) 10:30~16:30	心理臨床における職業倫理を学ぶ~産業領域での関わりを中心に~	種市 康太郎	15
9月17日	(日) 10:30~16:30	小学校における特別支援教育(ワークショップ形式)	松村 裕美	41
9月23日	(土) 10:30~16:30	乳幼児期・幼児期の発達障害への理解と具体的な支援	黒澤 礼子	47
9月24日	(日) 10:30~16:30	WISC-IV紹介編	大六 一志	100
9月30日	(土) 10:30~16:30	英語で学ぶ心理臨床	岩壁 茂	45
10月1日	(日) 10:30~16:30	ストレスマネジメント(中級)	坂上 頼子	43
10月21日	(土) 10:30~16:30	子どもの認知行動療法(中級)	松丸 未来	22
10月22日	(日) 10:30~16:30	弁証法的行動療法入門	中野 敬子	50
11月3日	(金) 10:30~16:30	学齢期の包括的アセスメント	日戸・松本・玉井・武部	50
11月5日	(日) 10:00~16:00	CRAFTに基づいたひきこもりの家族支援	境 泉洋	43
11月12日	(日) 10:30~16:30	産業心理臨床の実践-大人の発達障害-	瀬戸山 聡子	46
11月23日	(木・祝) 10:30~16:30	小児がんの心理臨床-医療で求められる役割と心理臨床の実践-	湯坐・山本・山本	47
12月3日	(日) 10:30~17:30	自律訓練法	笠井 仁	29
12月9日	(土) 10:30~16:30	自殺リスクのアセスメントと基本的対応-電話相談場面を中心に-	徳丸 享	48
12月10日	(日) 10:30~16:30	フェルトセンスを臨床に活用する:フォーカシング指向心理療法の基本	日笠 摩子	47
12月16日	(土) 10:30~16:30	発達障害と子どもの社会的不適応について	黒澤 礼子	47
12月23日	(土) 10:30~16:30	心理臨床における職業倫理を学ぶ~医療領域での関わりを中心に~	岡野 憲一郎	47
12月24日	(日) 10:30~16:30	思春期における特別支援教育(ワークショップ形式)	松村 裕美	48
1月14日	(日) 10:30~16:30	WISC-IV活用編	大六 一志	100
1月6日	(土) 10:30~16:30	犯罪心理鑑定講座	橋本和明	46
1月13日	(土) 10:30~16:30	神経心理学的検査の基礎と高次脳機能障害に対するアセスメントの具体例	平林 一、野川貴史	47
1月28日	(日) 10:30~16:30	アセスメントとしての描画と、絵を描くという体験	横山恭子	44
2月10日	(土) 10:30~16:30	質的研究法入門	能智正博	43
3月24日	(土) 10:30~16:30	箱庭療法を学ぶ	篠原道夫	50
3月25日	(日) 10:30~16:30	メールカウンセリングの理論と実際	宮崎 圭子	46
2/24.25	(土・日) 10:00~16:00	スクールカウンセリング入門コース(2日)	東京臨床心理士会	48
7/15.16	(土・日) 10:30~16:30	スクールカウンセリング経験者コース	東京臨床心理士会	24
				44講座 参加者 1,915名

## (2) 研修会開催状況

### ①定例研修会等

研修会名：日程		会 場	参加者
定例研修会 I 29年10月14日(土) ～15(日)	第10回障害の理解と支援に関する総合研修会(1)		850
	第14回産業・組織心理臨床専門研修会		261
	第8回司法矯正領域研修会		112
	第4回自死予防専門研修会		118
	第16回子ども家庭支援専門研修会		226
	第8回倫理ワークショップ		40
	第10回障害の理解と支援に関する総合研修会(2)		408
	第24回医療保健領域研修会		239
	第19回被害者支援研修会		63
	第3回教育領域研修会		326
	第5回アディクション心理臨床研修会		257
第3回ひきこもり対策研修会	100		
合 計			3,000
その他 29年5月21日(日)	第2回(H29)「臨床心理士」新規取得者のための基礎研修会	大正大学8号館	335

※定例研修会Ⅱ(大阪)は、公認心理師現任者講習会の開催日程等を考慮し、開催を見送った。

### ②全国都道府県臨床心理士会担当者研修会等

研修会名	日 程	会 場	参加者
医療保健領域担当者研修会	平成29年11月26日	当会研修室	44
代議員・全国都道府県臨床心理士会会長懇談会	平成29年12月2日・3日	クロス・ウェーブ府中	99
児童福祉(旧子ども家庭支援)担当者研修会	平成29年12月17日	当会研修室	45
被害者支援担当者研修会	平成30年1月20日	当会研修室	43
合 計			231

#### 4. 電話相談事業

- 定例電話相談

【実施日時】

午前（9：00～12：00）：金曜日

夜間（19：00～21：00）：月曜日～金曜日

【月別受電件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
午前	40	34	60	44	26	66	
夜間	110	127	112	115	133	152	
計	150	161	172	159	159	218	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度計
午前	43	30	48	36	37	48	512
夜間	148	130	127	111	108	131	1,504
計	191	160	175	147	145	179	2,016
						月平均	168

【参考】平成28年度 2,818件（月平均：235件）

※昨年度までは、午前は月曜日・水曜日・金曜日に実施

#### 5. ひきこもりの家族支援事業

##### （1）ひきこもりの家族支援セミナー

第3回	4月16日（日）	「なぜ、ひきこもりは長期化するのか？ —メカニズムとひきこもり解消の具体策—」 講師：河野 久忠	参加者 46名 個別相談 22 家族
第4回	11月4日（土）	「若者と社会をつなげるために家族ができること」 講師：境 泉洋	参加者 37名 個別相談 20 家族

##### （2）ひきこもり家族グループセミナー

第1回	7月24日（日）	「ひきこもっていても成長できる～充電ひきこもりのススメ～」講師：徳丸 享	参加者 12名 グループ懇談
第2回	9月25日（日）	「ひきこもる心理を理解する～不安／対人緊張と回避～」講師：徳丸 享	参加者 6名 グループ懇談
第3回	11月27日（月）	「待つ／見守るとはどういうことか～待つ間に何をすればいいのか～」講師：徳丸 享	参加者 5名 グループ懇談
第4回	1月29日（月）	「支援サービスを利用できるようになるための準備～充電ひきこもりからの次の一歩～」講師：徳丸 享	参加者 7名 グループ懇談
第5回	3月26日（月）	「再び第3者との関係を築くために～今、できることを見つけましょう～」講師：徳丸 享	参加者 6名 グループ懇談

## 6. 雑誌、ニュースレター、メールマガジン、資格問題の諸情報・電子版速報の発行

### (1) 雑誌

号数	発行日	主要掲載記事
83号	平成29年7月31日	<p>巻頭言「会長就任のご挨拶」</p> <p>役員会報告</p> <p>第3期前期第9回・10回理事会、第3期第4回代議員会報告</p> <p>特集1—高齢者の生活と心理支援</p> <p>臨床心理士と認知症の医療同意</p> <p>認知症の早期発見と暮らしを支えるもの忘れ相談の実践</p> <p>高齢者の運転をめぐる法改正と研究状況</p> <p>特集2—平成28年熊本地震から1年</p> <p>熊本地震における事務局の動き</p> <p>熊本・大分地震から1年を迎えて</p> <p>公認心理師制度関連情報</p> <p>資格法制化問題の諸情報（第67報）</p> <p>公認心理師制度検討の経緯と今後の課題について</p> <p>横断的課題に対する取り組み（第8報）</p> <p>合理的配慮をめぐって</p> <p>自死予防をめぐる最近の動きと当会の取り組み</p> <p>四国サミットにおける災害支援への取り組み</p> <p>研修企画検討班の次期の活動</p> <p>各職域におけるアディクション支援の実態</p> <p>三団体合同の活動</p> <p>第46回学校臨床心理士担当理事・コーディネーター</p> <p>全国連絡会議報告</p> <p>諸領域の動向と委員会活動</p> <p>都道府県臨床心理士会の活動から</p> <p>山口県臨床心理士会</p>
84号	平成30年1月31日	<p>巻頭言「新しい年の初めにあって」</p> <p>役員会報告</p> <p>第3期後期第2回～第5回理事会報告</p> <p>特集—公認心理師法施行</p> <p>公認心理師制度対応プロジェクトチームの新設</p> <p>公認心理師法の施行を受けて</p> <p>公認心理師法の施行を受け、今後の職能組織のあり方等を考える</p> <p>～代議員・全国都道府県臨床心理士会会長懇談会報告～</p> <p>社会のニーズと心理臨床</p> <p>KHJ 全国ひきこもり家族連合会の歴史と当事者の声</p> <p>若者たちとともに学び育つ場</p> <p>諸領域の動向と諸課題の取り組み</p> <p>震災心理支援</p> <p>災害支援チームの構想に向けて</p> <p>支援事業</p> <p>支援事業部の活動</p> <p>三団体合同の活動</p> <p>臨床心理士三団体子育て支援合同委員会の活動から</p> <p>東西南北—都道府県臨床心理士会を巡って</p> <p>山形県臨床心理士会/新潟県臨床心理士会</p>



(2) ニュースレター

No.	発行日	主要掲載記事
17	平成 29 年 4 月 1 日	<p>会長挨拶「公認心理師カリキュラム等検討会の開催を受けて」                      公認心理師制度特集                      公認心理師カリキュラム等検討会について                      公認心理師の資格取得方法について                      公認心理師の施行に向けてQ&amp;A                      公認心理師試験の受験等に関する会員意向調査                      トピックス～関連法制度の動き～                      研修情報                      事務局からのお知らせ</p>
号外	平成 29 年 12 月 15 日	<p>会長挨拶「公認心理師法の施行を受け、今後の職の組織のあり方等を考える」～代議員・全国都道府県臨床心理士会会長懇談会懇談会プログラム                      衆議員議員 河村建夫先生講話（要旨）                      ブロック別および全員での協議の概要                      省庁・団体からの講演の概要                      公益財団法人国際医療技術財団                      法務省矯正局少年矯正課                      厚生労働省社会・援護局精神・障害保健課                      文部科学省初等中等教育局児童生徒課                      警察庁長官官房給与厚生課                      防衛省陸上自衛隊中央業務支援隊                      厚生労働省社会・援護局地域福祉課                      公益社団法人日本精神保健福祉士協会</p>

(3) メールマガジン

No.	発行日	主要掲載記事
1	平成 29 年 8 月 1 日	<p>1. 当会からのお知らせ                      第 3 期後期役員決定、福岡県・大分県の豪雨災害、公認心理師の受験等に関する会員意向調査他                      2. トピックス                      厚生労働省：第 6 回障害福祉サービス等報酬改定検討チーム                      文部科学省：平成 29 年度事業の障害者支援の観点からの総点について                      内閣府：平成 29 年版障害者白書他                      3. 公認心理師制度関連                      公認心理師法施行規則（案）に関する意見募集                      資格問題の諸情報・電子版速報No.25 のご案内他                      4. 研修情報等                      臨床心理講座のご案内、日本心理臨床学会の大会・研修会他                      5. 報道情報                      NHK「発達障害プロジェクト」公式サイト                      自治体初の「引きこもり支援」は地域の孤独を解消できるか他</p>
2	平成 29 年 9 月 1 日	<p>1. 当会からのお知らせ                      公認心理師法施行規則（案）に関するパブリックコメント提出                      2. トピックス                      厚生労働省：子ども虐待による死亡例等の検証結果について（第 13 次報告及び児童相談所での児童虐待相談対応件数                      文部科学省：夏休み明けに向けた官民連携によるいじめ防止強化</p>

		<p>キャンペーンの実施について 内閣府：障害者基本計画（第4次）案について他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 公認心理師法施行規則（案）に関する意見募集他</p> <p>4. 研修情報等 定例研修会 I（東京）のご案内 臨床心理講座のご案内他</p> <p>5. 報道情報 NHK「バリバラ Barrier-free Variety Show 公式サイト」 産経新聞「SNS いじめ相談窓口、来年度から試行 一部の学校で」 他</p>
3 (臨時)	平成 29 年 9 月 19 日	<p>1. 当会からのお知らせ 公認心理師受験等に関する最近の諸情報について他</p> <p>2. トピックス 厚生労働省：平成 30 年度厚生労働省所管予算概算要求関係他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 厚生労働省「公認心理師カリキュラム等検討会」報告書</p> <p>4. 研修情報等 臨床心理講座のご案内他</p> <p>5. 報道情報 いじめ問題対策強化 文科省、30 年度にもカウンセラーの全校配置前倒し他</p>
4 (臨時)	平成 29 年 10 月 11 日	<p>1. 当会からのお知らせ 「平成 30 年度診療報酬改定に関する要望書」提出 第 4 回ひきこもりの家族支援セミナーの開催他</p> <p>2. トピックス 11 月は「過労死等防止啓発月間」です他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 厚生労働省「公認心理師」ホームページ他</p> <p>4. 研修情報等 臨床心理講座のご案内、日本心理臨床学会の大会・研修会他</p> <p>5. 報道情報 増加する認知症患者の身体拘束本当に“仕方ないのか”他</p>
5 (臨時)	平成 29 年 10 月 18 日	<p>日本心理研修センターホームページに公認心理師試験サイトがオープンしました。（現任者講習会、公認心理師資格 Q&amp;A 等）</p>
6 (臨時)	平成 29 年 10 月 27 日	<p>1. 当会からのお知らせ 当会の求人情報</p> <p>2. トピックス 11 月は「過労死等防止啓発月間」です他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 日本心理研修センター「公認心理師試験サイト」他</p> <p>4. 研修情報等 臨床心理講座のご案内、日本心理臨床学会の大会・研修会他</p> <p>5. 報道情報 性暴力の現場で／1 男性被害者 信じてもらえぬ苦しみ他</p>
7	平成 29 年 12 月 1 日	<p>1. 当会からのお知らせ 公認心理師法における医師の指示に関する運用基準（案）に関する意見募集、新刊のおしらせ他</p> <p>2. トピックス</p>

		<p>知っておきたい！「厚生労働分野における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン等」、「SDGs」他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 日本心理研修センター「公認心理師試験サイト」他</p> <p>4. 研修情報等 臨床心理講座のご案内、日本心理臨床学会の大会・研修会他</p> <p>5. 報道情報 性犯罪被害、記憶から消えゆく存在にー奈良県警女性巡査部長、被害者のダメージ軽減に尽力 「早く忘れ新たな一歩を」他</p>
8	平成 29 年 12 月 21 日	<p>1. 当会からのお知らせ ニューズレター号外のお知らせ、公認心理師法における医師の指示に関する運用基準（案）に関する意見提出他</p> <p>2. トピックス 中央社会保険医療協議会（中央社会保険医療協議会総会）他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 日本心理研修センター「公認心理師試験サイト」他</p> <p>4. 研修情報等 臨床心理講座のご案内他</p> <p>5. 委員会等からのお知らせ アディクション対策専門委員会、医療保健領域委員会</p> <p>6. 報道情報 セサミストリートに自閉症の女の子『ジュリア』が登場。他</p>
9	平成 30 年 3 月 20 日	<p>1. 当会からのお知らせ 公認心理師現任者講習会開催について他</p> <p>2. トピックス 厚生労働省：社会・援護局関係主管課長会議資料 文部科学省：「無戸籍の学齢児童生徒の就学状況に関する調査の結果」の公表について他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 公認心理師試験の施行および公認心理師試験委員の公告他</p> <p>4. 研修情報等 臨床心理講座のご案内他</p> <p>5. 報道情報 「地域共生社会の実現に向けて～地域での支え合いに関する課題整理～」(地域での支え合いに関する研究検討委員会報告書)の概要他</p>

#### (4) 資格問題の諸情報・電子版速報

No.	発行日	主要掲載記事
25	平成 29 年 6 月 16 日	<p>配信にあたって 「公認心理師法」の施行がまちかになりました 公認心理師法カリキュラム等検討会報告書が出され、心理職の国家資格化を推進する議員連盟総会が開かれました 臨床心理士関係団体関連の動き、他団体等の動き</p>

## 7. ホームページの利用状況

### (1) 会員個人専用ページ（MYページ）利用状況

Web登録会員活用者 14,268名（前年比1,487名増加）

### (2) 『臨床心理士に会うには』都道府県別掲載件数

整理番号	都道府県	掲載件数	整理番号	都道府県	掲載件数
1	北海道	10	25	滋賀	2
2	青森	0	26	京都	24
3	岩手	3	27	大阪	53
4	宮城	2	28	兵庫	28
5	秋田	1	29	奈良	10
6	山形	1	30	和歌山	3
7	福島	4	31	鳥取	0
8	茨城	3	32	島根	2
9	栃木	5	33	岡山	6
10	群馬	6	34	広島	13
11	埼玉	31	35	山口	5
12	千葉	15	36	徳島	3
13	東京	149	37	香川	3
14	神奈川	46	38	愛媛	1
15	山梨	3	39	高知	1
16	長野	5	40	福岡	20
17	新潟	5	41	佐賀	1
18	富山	1	42	長崎	2
19	石川	3	43	熊本	4
20	福井	1	44	大分	3
21	岐阜	4	45	宮崎	0
22	静岡	15	46	鹿児島	2
23	愛知	24	47	沖縄	1
24	三重	2	48	その他	3
			掲載件数	529	

(3) ホームページ求人情報活用状況

(平成29年4月～平成30年3月掲載)

領 域	機関の種類	機関数
保健医療	病院・診療所	143
	精神保健福祉センター・保健所・保健センター	23
	保健医療関係その他	1
福 祉	児童福祉施設・機関（児童相談所を含む）	40
	障害者福祉施設・機関	2
	女性福祉施設・機関	2
	福祉関係その他	12
教 育	公立教育相談機関・教育委員会	34
	幼稚園・小学校・中学校・高校・予備校	11
	各自治体から派遣SC	11
	教育関係その他	1
大学 研究所	専門学校・短大・大学等（主に教育・研究）	10
	専門学校・短大・大学等（主に相談業務）	39
	研究所・研究機関	1
司法法務 警察 防衛	法務省（矯正保護）関係機関	3
	司法法務警察関係	4
	自衛隊	5
産業労働	独立の健康管理・相談所	19
	産業労働関係	10
私設心理相談	民間心理相談機関	6
	民間心理相談機関その他	3
その他	その他(被災地支援含む)	10
	合 計	390

## 8. 行政機関、他団体・機関への委員・役員等の選出状況

### 1) 行政機関

府 省	組 織	役職等
法 務 省	「社会を明るくする運動」中央推進委員会	委 員
文部科学省	いじめ防止対策協議会	委 員
	不登校に関する調査研究協力者会議	委 員
	特別支援教育ネットワーク推進委員会	構成員
厚生労働省	健やか親子21（第2次）推進協議会	参画団体
	児童虐待防止対策協議会	構成団体
	【委託事業】「こころの耳」委員会 (受託者：社団法人産業カウンセラー協会)	委 員
警 察 庁	児童の性被害撲滅対策推進協議会	構成団体
東 京 都	自殺総合対策東京会議 計画策定部会	委 員
大 田 区	自殺総合対策協議会	委 員

### 2) 他団体・機関

団 体・機 関	役職等	
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet）	代議員	
	理 事	
	多職種連携委員会	委 員
特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD）	正会員	
	政策委員会	委 員
公益社団法人全国精神保健福祉連合会（みんなネット）	会 員	
チーム医療推進協議会（事務局：公益社団法人日本理学療法士協会）	代議員	
	理 事	
被災者健康支援連絡協議会（事務局：公益社団法人日本医師会）	構成団体	
医療関連職種団体協議会（公益財団法人国際医療技術財団）	構成団体	
公益財団法人日本精神神経学会	多職種協働委員会	委 員
	災害支援委員会	委 員
	心理技術職に関する委員会	委 員
特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会	賛助会員	
臨床心理士関係三団体（公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会・一般社団法人日本心理臨床学会・当会）	学校臨床心理士ワーキンググループ	委 員
	子育て支援合同委員会	委 員

## 9. 後援名義使用承認一覧表

※受理順に記載

主催団体等	日程・名称・テーマ
大阪府臨床心理士会	29. 7. 2
	大阪府臨床心理士会 第1回公開講座&相談会
公益財団法人こころのバリアフリー研究会	29. 6. 3~4
	第4回公益財団法人こころのバリアフリー研究会総会
第25回日本産業ストレス学会	29. 12. 8~9
	第25回日本産業ストレス学会
一般社団法人日本発達障害ネットワーク	29. 8. 27
	発達障害支援人材育成研修会（前期）共催
一般社団法人 日本総合病院精神医学会	29. 8. 26~27
	第5回精神科リエゾンチーム講習会
日本感覚統合学会研究大会実行委員会	29. 10. 28~29
	第35回日本感覚統合学会研究大会
特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族連合会	29. 10. 28~29
	第12回特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族連合会全国大会
公益社団法人全国被害者支援ネットワーク	29. 10. 6
	全国犯罪被害者支援フォーラム2017
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会	29. 10. 19~20
	第10回全国精神保健福祉会大会岡山大会
GID（性同一性障害）学会	30. 3. 24~25
	GID（性同一性障害）学会第20回研究大会・総会
健康生きがい学会	29. 10. 8
	健康生きがい学会第8回大会
日本行動医学会学術総会	29. 12. 1~2
	第24回日本行動医学会学術総会
公益財団法人 日本精神衛生会	30. 3. 3
	メンタルヘルスの集い(第32回日本精神保健会議)
一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会	29. 12. 2~17
	「アートとトークによる多様性尊重の社会づくり展」
公益財団法人こころのバリアフリー研究会	29. 9. 22
	[こころのバリアフリー賞] 表彰事業
JDDnet第13回年次大会、研修会共催	29. 12. 3
	JDDnet第13回年次大会、研修会共催
日本外来臨床精神医学会	30. 2. 18
	第18回日本外来臨床精神医学会学術大会
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会	30. 3. 2
	みんなねっとフォーラム2017
香川県臨床心理士会	30. 3. 4
	自殺予防シンポジウム
日本描画テスト・描画療法学会運営委員会	30. 8. 25~26
	日本描画テスト・描画療法学会第28回大会
公益社団法人日本理学療法士協会	30. 5. 25~26
	第53回日本理学療法学会学術研修大会
第32回日本エイズ学会学術集会・総会	30. 12. 2~4
	第32回日本エイズ学会学術集会・総会
大阪府臨床心理士会	30. 6. 30
	大阪府臨床心理士会 第2回公開講座&相談会
一般社団法人日本摂食障害協会	30. 6. 2
	世界摂食障害アクションデイ2018
日本子ども虐待防止学会	30. 11. 30~12. 1
	日本子ども虐待防止学会第24回学術集会おかやま大会

## 10. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項

### (1) 代議員会 (全1回)

#### 第3期第4回 (定時) 代議員会

1. 日 時：平成 29 年 6 月 4 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分
2. 場 所：ステーションコンファレンス池袋
3. 議 案：
  - 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告並びに同決算報告 (案) 承認の件  
事業報告書と決算報告書について説明がなされ、その後監査報告が行われ原案どおり承認された。
  - 第 2 号議案 理事全員任期満了につき選任の件  
任期満了に伴う理事候補者選出選挙に基づき、候補者ごとに選任することについて採決し、全候補者が過半数の多数をもって承認され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。
  - 第 3 号議案 監事全員任期満了につき選任の件  
監事候補者ごとに選任することについて採決し、両候補者とも過半数の多数をもって承認され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

### (2) 理事会 (全7回)

#### 第3期前期第10回理事会

1. 日 時：平成 29 年 5 月 7 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時 20 分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室 (ユニゾ本郷二丁目ビル 4F)
3. 議 案：
  - 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告 (案) について
  - 第 2 号議案 平成 28 年度決算報告 (案) について
  - 第 3 号議案 第 3 期第 4 回代議員会の議長の選任について

#### 第3期後期第1回理事会

1. 日 時：平成 29 年 6 月 4 日 (日) 午後 4 時 00 分～4 時 30 分
2. 場 所：ステーションコンファレンス池袋・Room3
3. 議 案：
  - 第 1 号議案 代表理事・会長 1 名選定の件
  - 第 2 号議案 代表理事・副会長 2 名選定の件
  - 第 3 号議案 専務理事 1 名ならびに常務理事 3 名選定の件

#### 第3期後期第2回理事会

1. 日 時：平成 29 年 7 月 9 日 (日) 午後 1 時 30 分～3 時 00 分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室 (ユニゾ本郷二丁目ビル 4F)
3. 議 案：
  - 第 1 号議案 委員会委員長及びプロジェクトチーム代表選任の承認の件

#### 第3期後期第3回理事会

1. 日 時：平成 29 年 7 月 23 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室 (ユニゾ本郷二丁目ビル 4F)
3. 議 案：
  - 第 1 号議案 委員会及びプロジェクトチームの委員選任の承認の件



#### 第3期後期第4回理事会

1. 日 時：平成29年9月24日（日）午後1時30分～4時00分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室（ユニゾ本郷二丁目ビル4F）
3. 議 案：  
第1号議案 委員会及びプロジェクトチームの委員選任の承認の件

#### 第3期後期第5回理事会

1. 日 時：平成29年12月3日（日）午後2時10分～4時00分
2. 場 所：クロス・ウェーブ府中・321号室
3. 議 案：  
第1号議案 委員選任の承認の件  
第2号議案 事務局規程制定の件  
第3号議案 就業規則制定の件  
第4号議案 育児・介護休業規程制定の件  
第5号議案 職員給与規程制定の件  
第6号議案 職員退職金規程制定の件  
第7号議案 事務局長選任の承認の件

#### 第3期後期第6回理事会

1. 日 時：平成30年3月11日（日）午後1時30分～4時10分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室（ユニゾ本郷二丁目ビル4F）
3. 議 案：  
第1号議案 平成30年度事業計画（案）承認の件  
第2号議案 平成30年度収支予算（案）承認の件

#### （3）常任理事会（全8回）

- 第3期前期第19回常任理事会：平成29年4月28日（金）午後6時30分～9時00分  
第3期前期第20回常任理事会：平成29年6月4日（日）午前10時30分～11時30分  
第3期後期第1回常任理事会：平成29年6月4日（日）午後4時30分～5時00分  
第3期後期第2回常任理事会：平成29年7月22日（土）午後5時30分～9時20分  
第3期後期第3回常任理事会：平成29年9月16日（土）午後1時30分～4時20分  
第3期後期第4回常任理事会：平成29年11月4日（土）午後6時30分～9時20分  
第3期後期第5回常任理事会：平成30年1月7日（日）午前11時00分～午後1時00分  
第3期後期第6回常任理事会：平成30年3月3日（土）午後4時00分～7時00分

※場所は第3期前期第20回、後期第1回（ステーションコンファレンス池袋会議室）を除き、  
当会会議室（ユニゾ本郷二丁目ビル4F）



# 平成 29 年度（2017 年度）決算報告書

貸 借 対 照 表

正味財産増減計算書

財 産 目 録

収 支 計 算 書



## 貸借対照表

平成30年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	115,882	299,187	△ 183,305
普通預金	109,012,281	48,943,081	60,069,200
定期預金	52,000,000	52,000,000	0
郵便振替貯金	25,179,247	12,494,783	12,684,464
現金預金合計	186,307,410	113,737,051	72,570,359
流動資産合計	186,307,410	113,737,051	72,570,359
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	5,000,000	0	5,000,000
選挙関係引当金積立資産	10,500,000	7,000,000	3,500,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	50,000,000	0
特別災害時支援引当資産	13,000,000	13,000,000	0
特定資産合計	78,500,000	70,000,000	8,500,000
(2) その他固定資産			
建物付属設備	5,250,000	5,250,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,407,000	△ 1,055,250	△ 351,750
器具備品	13,900,575	11,990,685	1,909,890
器具備品減価償却累計額	△ 9,431,671	△ 7,907,868	△ 1,523,803
敷金	8,982,400	8,982,400	0
その他固定資産合計	17,294,304	17,259,967	34,337
固定資産合計	95,794,304	87,259,967	8,534,337
資産合計	282,101,714	200,997,018	81,104,696
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	947,326	756,380	190,946
流動負債合計	947,326	756,380	190,946
負債合計	947,326	756,380	190,946
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	78,500,000	70,000,000	8,500,000
正味財産合計	281,154,388	200,240,638	80,913,750
負債及び正味財産合計	282,101,714	200,997,018	81,104,696

## 正味財産増減計算書

平成29年04月01日から平成30年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	167,539,784	167,057,000	482,784
受取会費計	167,539,784	167,057,000	482,784
研修会事業収益			
研修会事業収益	16,842,840	18,901,000	△ 2,058,160
現任者講習会収益	41,345,000	0	41,345,000
研修会事業収益計	58,187,840	18,901,000	39,286,840
臨床心理講座事業収益			
臨床心理講座収益	11,968,500	12,299,000	△ 330,500
臨床心理講座事業収益計	11,968,500	12,299,000	△ 330,500
検索システム収益			
検索システム収益	1,690,000	1,680,000	10,000
検索システム収益計	1,690,000	1,680,000	10,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	737,480	△ 737,480
受取寄付金計	0	737,480	△ 737,480
雑収益			
雑収益	3,807,849	3,367,330	440,519
雑収益計	3,807,849	3,367,330	440,519
他会計繰入金			
他会計からの繰入金	0	11,121,771	△ 11,121,771
他会計繰入金計	0	11,121,771	△ 11,121,771
経常収益計	243,193,973	215,163,581	28,030,392
(2) 経常費用			
事業費			
刊行費	16,439,162	17,683,690	△ 1,244,528
委員会活動費	11,856,774	12,017,742	△ 160,968
会議費	1,991,715	2,620,274	△ 628,559
広報・渉外費	3,048,758	4,178,731	△ 1,129,973
システム管理費	1,275,004	2,157,698	△ 882,694
研修会運営費	13,560,867	18,326,957	△ 4,766,090
電話相談事業	4,672,300	6,440,698	△ 1,768,398
臨床心理講座運営費	4,655,128	6,662,429	△ 2,007,301
震災心理支援センター費	0	662,528	△ 662,528
災害支援費	0	1,754,671	△ 1,754,671
臨床心理士賠償責任保険関係費	22,927,115	22,285,220	641,895
事業費計	80,426,823	94,790,638	△ 14,363,815
管理費			
常任理事会	1,642,079	1,021,433	620,646
理事会	2,455,628	1,896,021	559,607
代議員会	4,613,227	2,109,033	2,504,194
団体会員会	3,438,740	3,164,781	273,959
事務局会議	89,043	95,064	△ 6,021
運営負担金	162,870	81,000	81,870
事務委託費	108,270	108,270	0
施設費	17,953,508	13,003,525	4,949,983
人件費	39,341,858	45,393,888	△ 6,052,030

**正味財産増減計算書**

平成29年04月01日から 平成30年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
通信費	4,310,525	4,016,670	293,855
印刷費	3,051,267	2,913,801	137,466
消耗品費	62,873	63,228	△ 355
備品費	30,401	492,331	△ 461,930
図書費	13,776	31,968	△ 18,192
購読料	35,816	49,261	△ 13,445
雑費	114,104	57,765	56,339
選挙関係費支出	21,606	0	21,606
租税公課	2,532,256	△ 43,600	2,575,856
建物設備減価償却費	351,750	351,750	0
器具備品減価償却費	1,523,803	1,506,014	17,789
管理費計	81,853,400	76,312,203	5,541,197
他会計繰出金			
他会計への繰出金	0	11,121,771	△ 11,121,771
他会計繰出金計	0	11,121,771	△ 11,121,771
経常費用計	162,280,223	182,224,612	△ 19,944,389
評価損益等調整前当期経常増減額	80,913,750	32,938,969	47,974,781
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	80,913,750	32,938,969	47,974,781
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	80,913,750	32,938,969	47,974,781
当期一般正味財産増減額	80,913,750	32,938,969	47,974,781
一般正味財産期首残高	200,240,638	167,301,669	32,938,969
一般正味財産期末残高	281,154,388	200,240,638	80,913,750
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	281,154,388	200,240,638	80,913,750

**財 産 目 録**

平成30年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金預金	現金		115,882
	普通預金		109,012,281
	みずほ銀行 本郷支店		23,340,201
	ジャパンネット銀行		85,672,080
	定期預金		52,000,000
	郵便振替貯金		25,179,247
	東京貯金事務センター 通常貯金		24,652,758 526,489
	現金預金合計		
流動資産合計			186,307,410
<b>(固定資産)</b>			
特定資産	退職給付引当資産	(退職金支払準備金)	5,000,000
	選挙関係引当金積立資産	(選挙時費用)	10,500,000
	建物付属施設準備資産		50,000,000
	特別災害時支援引当資産	(特別災害時費用)	13,000,000
	特定資産合計		
その他固定資産	建物付属設備		5,250,000
	建物減価償却累計額		△ 1,407,000
	器具備品		13,900,575
	器具備品減価償却累計額		△ 9,431,671
	敷金		8,982,400
	その他固定資産合計		
固定資産合計			95,794,304
資産合計			282,101,714
<b>(流動負債)</b>			
	預り金		947,326
	税預り金・所得税		150,608
	税預り金・謝礼分		174,870
	税預り金・地方税		120,200
	健康保険料		194,208
	厚生年金保険料		307,440
	流動負債合計		
負債合計			947,326
正味財産			281,154,388



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

この財務諸表は、当年度から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)に準拠し作成している。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物、器具備品は定額法によっている。

#### (2) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
退職給付引当資産	-	5,000,000	0	5,000,000
選挙関係引当資産	7,000,000	3,500,000	0	10,500,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	0	0	50,000,000
特別災害時支援引当資産	13,000,000	0	0	13,000,000
合 計	70,000,000	8,500,000	0	78,500,000

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債からの充当額)
退職給付引当資産	5,000,000		(5,000,000)	
選挙関係引当資産	7,000,000		(7,000,000)	
建物付属施設準備資産	50,000,000		(50,000,000)	
特別災害時支援引当資産	13,000,000		(13,000,000)	
合 計	69,000,000		(69,000,000)	

## 附 属 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

### 2. 引当金明細

該当なし

## 収支計算書

平成29年04月01日から平成30年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差違	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 会費収入				
会費収入	160,000,000	167,539,784	△ 7,539,784	
会費収入計	160,000,000	167,539,784	△ 7,539,784	
(2) 研修会事業収入				
研修会事業収入	20,000,000	58,187,840	△ 38,187,840	うち公認心理師現任者講習会 受講料41,000千円
研修会事業収入計	20,000,000	58,187,840	△ 38,187,840	
(3) 臨床心理講座事業収入				
臨床心理講座収入	11,500,000	11,968,500	△ 468,500	
臨床心理講座事業収入計	11,500,000	11,968,500	△ 468,500	
(4) 検索システム収入				
検索システム収入	1,500,000	1,690,000	△ 190,000	
検索システム収入計	1,500,000	1,690,000	△ 190,000	
(5) 雑収入				
雑収入	3,000,000	3,807,849	△ 807,849	
雑収入計	3,000,000	3,807,849	△ 807,849	
事業活動収入計	196,000,000	243,193,973	△ 47,193,973	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
刊行費支出	21,300,000	16,439,162	4,860,838	
委員会活動費支出	19,951,000	11,856,774	8,094,226	
会議費支出	3,000,000	1,991,715	1,008,285	
広報・渉外費支出	6,000,000	3,048,758	2,951,242	
システム管理費支出	2,500,000	1,275,004	1,224,996	
研修会運営費支出	20,000,000	13,560,867	6,439,133	
電話相談事業費支出	5,500,000	4,672,300	827,700	
臨床心理講座費支出	5,000,000	4,655,128	344,872	
臨床心理士賠償責任保険関係費支出	22,000,000	22,927,115	△ 927,115	
事業費支出計	105,251,000	80,426,823	24,824,177	
(2) 管理費支出				
会議費支出				
常任理事会支出	1,500,000	1,642,079	△ 142,079	
理事会支出	3,000,000	2,455,628	544,372	
代議員会支出	5,000,000	4,613,227	386,773	
団体会員会支出	4,000,000	3,438,740	561,260	
事務局会議支出	150,000	89,043	60,957	
会議費支出計	13,650,000	12,238,717	1,411,283	
事務費支出				
運営負担金支出	100,000	162,870	△ 62,870	
事務委託費支出	500,000	108,270	391,730	
施設費支出	18,300,000	17,953,508	346,492	
人件費支出	40,000,000	39,341,858	658,142	
通信費支出	5,000,000	4,310,525	689,475	
印刷費支出	3,500,000	3,051,267	448,733	
消耗品費支出	150,000	62,873	87,127	

## 収支計算書

平成29年04月01日から平成30年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差違	備考
備品費支出	150,000	30,401	119,599	
図書費支出	30,000	13,776	16,224	
購読料支出	50,000	35,816	14,184	
雑支出	200,000	114,104	85,896	
事務費支出計	67,980,000	65,185,268	2,794,732	
選挙関係費支出				
選挙関係費支出	100,000	21,606	78,394	
選挙関係費支出計	100,000	21,606	78,394	
租税公課支出				
租税公課支出	2,000,000	2,532,256	△ 532,256	
租税公課支出計	2,000,000	2,532,256	△ 532,256	
管理費支出計	83,730,000	79,977,847	3,752,153	
事業活動支出計	188,981,000	160,404,670	28,576,330	
事業活動収支差額	7,019,000	82,789,303	△ 75,770,303	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	
選挙関係引当金繰入支出	3,500,000	3,500,000	0	
特定資産取得支出計	3,500,000	8,500,000	△ 5,000,000	
(2) 固定資産取得支出				
器具備品購入支出	3,000,000	1,909,890	1,090,110	
固定資産取得支出計	3,000,000	1,909,890	1,090,110	
投資活動支出計	6,500,000	10,409,890	△ 3,909,890	
投資活動収支差額	△ 6,500,000	△ 10,409,890	3,909,890	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	—	0	
当期収支差額	519,000	72,379,413	△ 71,860,413	
前期繰越収支差額	112,980,671	112,980,671	0	
次期繰越収支差額	113,499,671	185,360,084	△ 71,860,413	

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、仮払金、未払金、前受会費、預り金を含めている。  
なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰り越し収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	113,737,051	186,307,410
合 計	113,737,051	186,307,410
仮受金	0	0
預り金	756,380	947,326
合 計	756,380	947,326
次期繰越収支差額	112,980,671	185,360,084

## 監 査 報 告 書

一般社団法人 日本臨床心理士会

会 長 津 川 律 子 様

一般社団法人 日本臨床心理士会定款第25条第1項(5)及び第40条第1項に基づき、平成29年度の事業報告及び決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

平成30年4月28日

一般社団法人日本臨床心理士会

監事

宮崎



監事

藤原俊通



一般社団法人日本臨床心理士会 第3期後期 役員名簿

(役職別、五十音順)

会 長	津川 律子	日本大学文理学部心理学科
副 会 長	高橋 幸市	佐賀県立虹の松原学園
副 会 長	徳丸 享	立正大学心理学部臨床心理学科
専務理事	奥村 茉莉子	事務局長
常務理事	江口 昌克	国立大学法人静岡大学
常務理事	高田 晃	宇部フロンティア大学
常務理事	花村 温子	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
理 事	伊藤 良子	帝塚山学院大學大学院
理 事	乾 吉佑	多摩心理臨床研究室
理 事	今井 たよか	あるく相談室京都
理 事	岩倉 拓	あざみ野心理オフィス
理 事	宇田川 一夫	東北福祉大学
理 事	香川 克	京都文教大学
理 事	片岡 玲子	立正大学 心理臨床センター
理 事	川畑 直人	京都文教大学
理 事	菊池 義人	鳥取大学大学院医学系研究科心理学専攻
理 事	倉光 修	放送大学
理 事	鶴 光代	東京福祉大学 心理学部
理 事	野島 一彦	跡見学園女子大学
理 事	信田 さよ子	原宿カウンセリングセンター
理 事	平野 学	慶應義塾大学
監 事	藤原 俊通	陸上自衛隊衛生学校
監 事	宮崎 昭	山形大学地域教育文化学部

(平成30年3月31日現在)

一般社団法人日本臨床心理士会 第3期 代議員名簿

00	全国区	石田 陽彦	
00	全国区	岡田 康伸	
00	全国区	葛西 真記子	
00	全国区	窪田 由紀	
00	全国区	滝口 俊子	
00	全国区	橘 玲子	
00	全国区	田中 康雄	
00	全国区	富永 良喜	
00	全国区	人見 健太郎	
00	全国区	平井 正三	
00	全国区	武藤 誠	
00	全国区	村瀬 嘉代子	
00	全国区	村山 正治	
1	北海道	三上 謙一	
2	青 森	関谷 道夫	
3	岩 手	織田 信男	
4	宮 城	宇田川 一夫	(理事)
5	秋 田	佐々木 亮次	
6	山 形	大御 均	
7	福 島	渡部 純夫	
8	茨 城	杉江 征	
9	栃 木	長久保 勇輔	
10	群 馬	猶原 宗雄	
11	埼 玉	枝久保 達夫	
11	埼 玉	花村 温子	(理事)
12	千 葉	齋藤 由美	
12	千 葉	飛田野 剛	
13	東 京	石川 悦子	
13	東 京	柴田 恵津子	
13	東 京	徳丸 享	(理事)
13	東 京	中村 留貴子	
13	東 京	馬場 禮子	
13	東 京	福田 由利	
14	神奈川	岩倉 拓	(理事)
14	神奈川	加藤 志ほ子	
14	神奈川	高木 秀明	
15	山 梨	吉川 眞理	
16	長 野	稲木 康一郎	
17	新 潟	小林 勇	
18	富 山	中塩 真巳	
19	石 川	武山 雅志	
20	福 井	岡本 克己	
21	岐 阜	宮地 幸雄	
22	静 岡	香野 毅	
23	愛 知	石川 健司	
23	愛 知	田畑 洋子	
24	三 重	森川 泉	
25	滋 賀	千原 美重子	
26	京 都	香川 克	(理事)
26	京 都	小林 哲郎	
27	大 阪	加藤 敬	
27	大 阪	吉田 俊治	
28	兵 庫	馬殿 禮子	
28	兵 庫	樋口 純一郎	
29	奈 良	川上 範夫	
30	和歌山	桑原 義登	
31	鳥 取	菊池 義人	(理事)
32	島 根	足立 智昭	
33	岡 山	進賀 友一	
34	広 島	塩山 二郎	
35	山 口	高田 晃	(理事)
36	徳 島	中津 郁子	
37	香 川	黒河内 美鈴	
38	愛 媛	渡邊 俊	
39	高 知	池 雅之	
40	福 岡	浦田 英範	
40	福 岡	嘉嶋 領子	
41	佐 賀	高橋 幸市	(理事)
42	長 崎	吉田 直樹	
43	熊 本	浦野 エイミ	
44	大 分	西村 薫	
45	宮 崎	佐藤 容子	
46	鹿 児 島	山喜 高秀	
47	沖 縄	野村 学	

(平成30年3月31日現在)